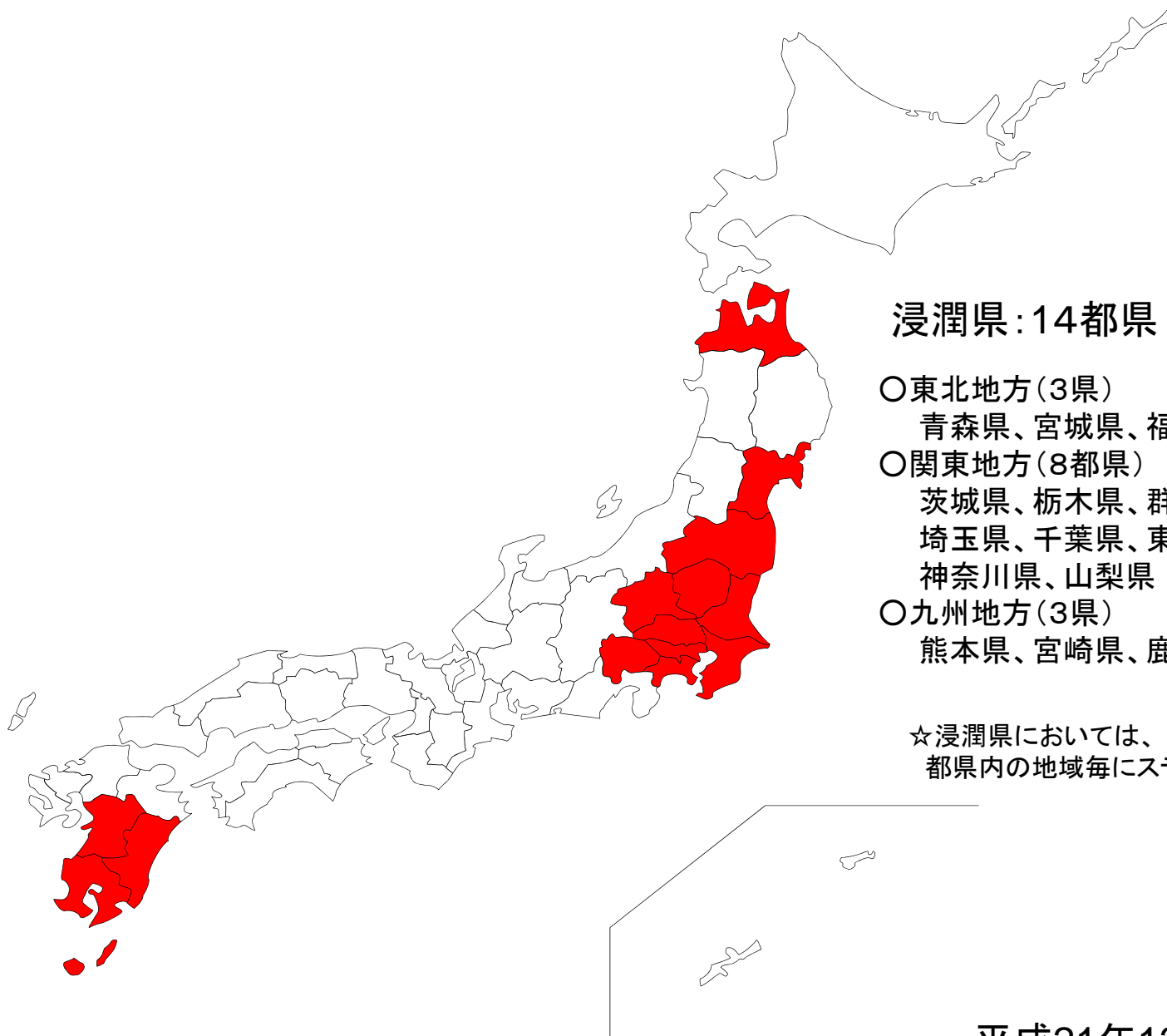


オーエスキー病の都道府県ごとの浸潤状況



平成21年12月1日現在

オーエスキー病の地域区分及び清浄化段階(ステータス)

平成21年12月1日現在

	地域区分数	清浄化段階(ステータス)毎の地域数			
		I:清浄化対策準備段階	II:清浄化対策強化段階	III:清浄化監視段階	IV:清浄段階
全国	1485	79 (5%)	337 (23%)	83 (6%)	986 (66%)
浸潤県 (14都県)	830	79 (10%)	337 (41%)	83 (10%)	331 (40%)
東北地方	235	2	52	23	158
青森	102	0	28	14	60
宮城	59	1	18	0	40
福島	74	1	6	9	58
関東地方	429	61	211	57	100
茨城	117	26	66	25	0
栃木	85	1	65	15	4
群馬	55	0	33	6	16
埼玉	42	27	9	6	0
千葉	79	6	18	4	51
東京	10	1	2	1	6
神奈川	38	0	17	0	21
山梨	3	0	1	0	2
九州地方	166	16	74	3	73
熊本	3	0	0	2	1
宮崎	37	0	26	1	10
鹿児島	126	16	48	0	62
清浄県 (33道府県)	655	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	655 (100%)

I(清浄化対策準備段階): 地域内に本病の発生又は感染豚の摘発がある。

かつ清浄化に向けた飼養豚全頭へのワクチン接種が行われていない。

II(清浄化対策強化段階): 地域内に本病の発生又は感染豚の摘発がある。かつ清浄化に向けた

飼養豚全頭へのワクチン接種が行われている。

III(清浄化監視段階): 本病の発生及び感染豚の摘発がなく、ワクチンを中止しており、かつ清浄性の確認(監視)を行っている。

IV(清浄段階): ワクチン不使用で1年以上感染豚が確認されていない等、清浄と判断される段階。